

グループ展「食(仮)」 企画概要

【コンセプト】

普遍的であると同時に、近年の安全性問題や教育の一環としても、特に関心が高まっている「食」をテーマとした展覧会である。生きとし生けるものが日々なんらかの形で繰り返している食。それは必ずしも生存するため、食欲を満たすため、食べる快楽を味わうためとは限らないだろう。あるいは真逆の、食べて吐き出すため、過剰に食べて苦しむため、死に至るためという場合さえもあり得る。また、私たち自身が生きるために何ものかの死を必要としていることも避けては通れない。食とはそのような不条理を含んだ多義的な行為である。

【参加予定作家 (50 音順)】 (2014年11月16日現在)

笹山直規 / SASAYAMA Naoki	web: http://naokisasayama.com
新宅睦仁 / SHINTAKU Tomoni	web: http://tomonishintaku.com
祐源紘史 / YUGEN Hirofumi	web: http://www.yugenhirofumi.com

【各作家紹介】

笹山直規は、テキサスの死刑囚が刑執行の前日に食した『最後の晩餐』を描く。これはアメリカで絞首刑の公開が行われていた時代からある死刑制度である。「生」を最大限に実感する効果的な手段であり、また個人の記憶を司るものである。食べきれないくらいの豪華な料理を要求する者もいれば、コーヒーを一杯だけ、など質素な晩餐もある。中には意味深なメッセージを持たせり、宗教的な儀式のために必要なメニューをリクエストした者もいた。それら死を受け入れた者達の『肖像画』として表現されたシリーズ作品である。



新宅睦仁 参考作品
《牛丼の滝 #69-04》
2014/watercolor on paper

新宅睦仁は牛丼をモチーフに作品を制作している。

早くて安くて旨いというコンセプトで、サッと出てきて、チャチャッと食べる牛丼。それは、味わうものではなく流し込まれると言ってもいいような食文化であり、そこには本来の「食べること＝生きること」というような生命観、あるいは倫理観は微塵もない。もちろん、飽食の先進国においては至極普通のことではあるのだが、よく考えてみると、どこかそら恐ろしい感じがする。

そのような危惧と問題提起を、日本の代表的なファーストフードである牛丼に象徴させ、大衆の胃袋に無秩序に際限なく落ちていくイメージを、牛丼を落下させ「牛丼の滝」のような構成にすることで表現している。



笹山直規 参考作品《LAST MEAL N-001》
2005/watercolor on paper 38×45(cm)

祐源紘史の作品の多くは食べ残した肉の骨や残骸、ファストフードのパッケージなど、食べる行為を経て残ったもので構成されている。また、既視感を与える形態を特徴とし、一見ポップな趣向を凝らしながらも、恐怖や不安といった感情を抱く要素を含んでる。

KFC フライドチキンの骨を洗って人体骨格として再構築した《KFC シリーズ》の姿はあまりに滑稽で、時に恐ろしく、私たち鑑賞者に問いかけてくるようだ。「私を食べて」その言葉の主は鶏なのか、カーネルサンダースなのか、また、大量消費の果てに残った私たち自身の姿なのか。



祐源紘史 参考作品《Please eat me》
2014/KFCの骨、KFCのパレル、接着剤 50×21.5×21.5(cm)

参加予定作家経歴

笹山直規 / SASAYAMA Naoki http://naokisasayama.com

1981 年生 滋賀県在住
2004 年 大阪芸術大学芸術学部美術学科 卒業

< 個展 >
2003 年 「Boys Don't Cry」 GUILD GALLERY、大阪
2004 年 「Heart full of pain」 立体ギャラリー 射手座、京都
2005 年 「Did my time」 立体ギャラリー 射手座、京都
2006 年 「The Creation」 立体ギャラリー 射手座、京都
2010 年 「事故現場」 Frantic Gallery、東京
2012 年 「大惨事的な鑑賞者」 Frantic Gallery、東京
2013 年 「THE TRAVEL」 ART SPACE ZERO-ONE、大阪
2014 年 「死体と美術」 ART SPACE ZERO-ONE、大阪

< グループ展 >
2003 年 「Dot」 海岸通ギャラリー CASO、大阪
2006 年 「悪趣味るねさんす」 ヴァニラ画廊、東京
2005 年 「群馬青年ビエンナーレ '05」 群馬県立近代美術館
2007 年 「Negative/Art 展 Vol.5」 GEISAI ミュージアム 2、東京
2008 年 「メークリヒカイト」 レントゲンヴェルケ、東京
2010 年 「酸化したリアリティー 群馬青年ビエンナーレの作家たち」、群馬県立近代美術館
2011 年 「2011 FRANTIC UNDERLINES」 Frantic Gallery、東京
2013 年 「TRANS ARTS TOKYO 2013」 東京

その他、多数参加。

< 賞歴 >
2005 年 「群馬青年ビエンナーレ '05」 群馬県立近代美術館 大賞受賞

< 掲載雑誌 >
2005 年 DVD BURST 6 月号 「死を演出する画家 笹山直規」
2006 年 美術手帖 7 月号 「日本の新世代アーティスト 108 人」
2010 年 美術手帖 6 月号 「新世代アーティスト宣言！」

新宅睦仁 / SHINTAKU Tomoni http://tomonishintaku.com

1982 年 広島県生まれ
2005 年 九州産業大学芸術学部美術学科卒業
2013 年 新宿調理師専門学校調理師本科卒業
現在 東京都在住

< 個展 >
2014 年 「牛井の滝」 沢田マンションギャラリー room38、高知
< グループ展 >
2014 年 「井池マルシェ」 井池マルシェ、大阪
2014 年 「ポートフォリオ展」 沢田マンションギャラリー room38、高知
2013 年 「POSSIBLY TALENTED Vol.3」 THE blank GALLERY、東京
2013 年 「第 6 回 ガキグラ展」 ギャラリー おいし、福岡
2012 年 「YOUNG ARTISTS JAPAN Vol.5」 東京デザイナーズウィーク (TDW) 内、東京
2004 年 「師寿睦仁展」 LAPIN ET HALOT、東京
2000 年 「大覚展」 NHK ギャラリー、福岡
< 賞歴 >
2013 年 第 2 回 宮本三郎記念デッサン大賞展 入選
2005 年 別府アジアビエンナーレ 2005 入選
2004 年 第 19 回 とびうめ国文祭美術展 入選
2002 年 第 34 回 西日本美術展 入選
2001 年 第 37 回 福岡市美術展 福岡市議会議長賞

< その他の活動 >
2007 年 樋口師寿 (馬鹿鹿家名義でも活動中) とアートユニット 「ART DIS FOR」 結成
< ART DIS FOR での個展 >
2008 年 「Shopping」 ART・IN・GALLERY、東京
 「くたばれ東京藝大展」 ART・IN・GALLERY、東京
< ART DIS FOR でのグループ展 >
2011 年 「petit」GEISAI #15」 東京都立産業貿易センター台東館、東京
2010 年 「千代田芸術祭 3331 アンデパンダン」 アーツ千代田 3331、東京
 「Unknown possibility 03」 新宿眼科画廊、東京
 「GEISAI #14」 東京ビックサイト、東京
2009 年 「Unexpected」 新宿眼科画廊、東京
 「ART & PHOTOBOOK EXHIBITION」 新宿眼科画廊、東京
 「東京アンデパンダン展」 COEXIST、東京
 「The Artcompe X」 The Artcomplex Center of Tokyo、東京
< ART DIS FOR での賞歴 >
2009 年 第 13 回 新生展 入選
2009 年 第 45 回 神奈川県美術展 入選

祐源紘史 / YUGEN Hirofumi http://www.yugenhirofumi.com

1979 年 岡山県生まれ
2004 年 広島市立大学芸術学部デザイン工芸学科卒業
2004 - 2005 年 ドイツ、ハノーバー専科大学へ短期交換留学
2006 年 広島市立大学大学院芸術学研究科造形計画修了
現在 広島在住

< 主な個展 >
2013 年 「最初の食事が死の始めである」 gallery t、東京
2007 年 「G-Selection 祐源紘史 展」 gallery G、広島
< 主なグループ展 >
2014 年 「第 67 回 山口県美術展覧会」 山口県立美術館
2013 年 「デザインナイト 2013」 SUZU CAFE hiroshima、広島
 「横川商店街劇場 2013 [横川モンマルトル]」 横川商店街、広島
 「アラフドアートアニュアル」 土湯温泉町、福島
2012 年 「衣・食・住 ソウル -」 広島、西京大学、ソウル
 「パークビルストリートギャラリー」 広島
2011 年 「第 65 回 山口県美術展覧会」 山口県立美術館
 「現代の造形ー Life&Art ー [半農半アーター水ありてー]」 東広島市美術館、広島
 「箱しまうはこぶおくる展」 生活工房ギャラリー (三軒茶屋・キャロットタワー 3F)、東京

2010 年 「食と現代美術 part6」 BankART1929、横浜
 「ゼロダテ / 大館展 2010」 大館商店街、秋田
 「広島アートプロジェクト 2010」 HiroshimART 展、広島
2009 年 「広島アートプロジェクト 2009、[いざ、船内探検！吉宝丸] 展」、広島
2008 年 「ゲンビビこでも企画公募」 広島市現代美術館
 「広島アートプロジェクト」 2008、旧中工場アートプロジェクト 2 「汽水域」展、広島
2007 年 「旧中工場アートプロジェクト [ゴミがアートになる！超高品質なホコリ] 展」、広島
2006 年 「第 2 回 北村西望生誕地現代彫刻プロジェクト [FROMLIFE]」 長崎
2005 年 「Art Contemporain」 ベルリン
 「exchange students exhibition GEISHA」 エキスボプラザ内 チェコ館、ハノーバー
 「Ein Gefuehltes Ein Gedachtes, RODOLFO」 arte y comunicacion, ベルリン
< 主な受賞 >
2014 年 第 67 回 山口県美術展覧会 佳作
2011 年 第 65 回 山口県美術展覧会 佳作
2006 年 “プリ・ラ・ジュネス” 受賞、(広島市立大学)
< 企画・運営 >
2013 年 横川商店街劇場 2014 「ニュー横川シネマパラダイス」、横川商店街、広島
2013 年 横川商店街劇場 2013 「横川モンマルトル」、横川商店街、広島